

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害避難訓練に対して、入居者様の介護度に応じた個々の対応が必要であり、緊急時の対応方法を統一し、万全を期する必要がある。また、地域の方々との協力依頼の継続を運営推進会議を通じて再確認する必要がある。	年2回の避難訓練の状況を運営推進会議にて報告を行い、可視化できるものとする。必要に応じた対応を図れるように地域への協力依頼を行う。	年2回の災害避難訓練の記録方法を可視化できるように記録係を設定する。写真などを通じて運営推進会議時に報告を行い、協力依頼体制を継続する。	12ヶ月
2	7	認知症高齢者に対する特性の理解と把握、身体拘束・虐待に対する知識の習得が全職員に統一した理解があるか。	認知症に対する理解、ひとりひとりの利用者様の特性の把握、身体拘束・虐待に対する知識を十分に有し、統一された理解を持ち、介護を行う。	毎月のユニット会議の中での職員研修を充実したものとし、課題・レポートを通して、知識の習得を行う。	12ヶ月
3	26	前年度より実施しているチームとしてのケアプランのPDCAサイクル方法を確実に継続する。	チームとして職員が情報を共有し、利用者本位となるケアプランの作成の継続。	モニタリングの方法を継続して行い、全職員が情報の共有をもとにケアプランの実施、作成ができるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。